

令和2年度 小学校若手教員育成研修 概要  
-主体的・協働的な学び合いによる2年目教員の資質・能力の向上を目指して-

1 概要

奈良県立教育研究所では、平成27年度から平成30年度にかけて、若手教員の資質・能力の向上を目指して、主体的・協働的な学び合いによる研修を実施してきた。平成27年度から平成29年度にかけては「奈良教育大学との連携による小学校若手教員育成研修システム開発事業Ⅰ～Ⅲ」を、また、平成30年度はこれまでの3年間の取組の成果を踏まえ「小学校若手教員育成研修」を実施した。

令和元年度は、これまで構築してきた研修システムの成果と課題をもう一度見直し、「小学校若手教員育成研修」が、県内の小学校2年目教員（以下「若手教員」とする。）全体の資質・能力の向上を図る実践的な研修となるよう内容の改善を行った。令和2年度は、令和元年度の実践内容を見直しつつ、継続して実施する。具体的には、若手教員全体を教科ごとに6つのグループに分け、各グループに奈良教育大学教員及び担当指導主事が加わり、主体的・協働的に学び合う研修を推進する。また、初期研修講座（2年目）小学校と連携して実施することで、県内の若手教員全体が主体的に研修に取り組むことができる体制を構築し、若手教員の向上心や協働性を高める。

2 対象

- ・ 小学校採用2年目教員（92名）

3 組織

次の機関によって「小学校若手教員育成研修推進委員会」（以下「委員会」という）を設置する。

- ・ 奈良教育大学
- ・ 奈良県立教育研究所

4 イメージ図



5 事業スケジュール及び内容等

